



式内名神大社  
上総國一之宮

玉前神社

# 平成の大修理

御奉賛のしおり



## 元国幣中社 玉前神社

### 平成の大修理に付 御奉賛の御願い

時下、益々御清栄の御事と拝察お慶び申し上げます。

毎々、玉前神社の祭事・維持経営に關しましては特別の御高配を賜り有難く、厚く御礼申し上げます。

陳者 当社は古来上総國一之宮と称えられ、皇室・武家・一般の人々の尊崇篤く、『上総十二社祭り』と共に永々と護持されて参りました。

現在の社殿は貞享四年（一六八七）に造営（里見家寄進、平成八年県有形文化財指定）、大正十一年の大修理から約九十年が経過し、御社殿の歪みに揚屋をしての修理、腐食漆塗の剥落修繕、本殿屋根の修理、境内諸施設の整備工事等を執り行い、元国幣中社に相応しい威容に戻し、日々参拝する人々の用に供すると共に報恩反始の誠を尽し、上総國一之宮の御祈願所たるに相応しく祭祀の厳修・伝統神事等の維持普及に努めたく存じます。

つきましては、右御賛同賜り篤志を以ちまして左記に依り特別の御奉賛を戴き度く御案内申し上げます。

敬具

あらた世の 変化に合わせ いやちこに

戻しまつらん 玉前の宮

平成二十二年吉辰

玉前神社 宮司 栗原 崇次

氏子・崇敬者各位



平成29年3月 御社殿竣工予定

(本殿・幣殿・拝殿)



## 社殿と棟札

玉前神社の社殿は、黒漆塗りの権現造りという珍しい社殿です。貞享四（一六八七）年に造営され、建築様式は大唐破風・流れ入母屋権現造りで、銅板葺きです。

正面に高砂の彫刻があり、左甚五郎の作とも言われています。棟札は大きく、表には奉造営貞享四年三月十三日大工棟梁大沼権兵衛とあり、裏面には十三か村の名が記されています。



高砂の彫刻

## 鎮守の森

日本では古来より、山や川などの自然や自然現象を敬い、それらに神の姿を見出してきました。

自然と神は一体的に認識され、神と人間を取り結ぶ具体的な作法が祭祀（御祈祷など祭典）であり、その祭祀を行う場所が聖域であり神社とされてきました。

社殿の周囲を取り囲むようにそびえる木々は様々な命が息づいており、古来からの歴史を現代に伝えるかの如く四季折々の姿を私たちに魅せてくれます。



## 御奉献のお願い

この度の御社殿修理事業に対し、氏子・崇敬者各位には、ご理解・ご賛同を頂き衷心より感謝申し上げます。

長きに亘り進行して参りました御社殿の修理事業も佳境を迎え、この度、調度品を新調するべく御奉献を募る事と相成り、益々の御神威発揚を図る事を期するものであります。

御奉献頂いた調度品は名入れを行い、御神前へご芳名を顕にし、各位の敬神の念を示すと同時に、当社より感謝の意を表す次第でございます。

詳細につきましては当社社務所までお問い合わせ下さい。

皆様の篤志をお待ち致しております。





# 事業計画概要

## 一、十二社祭り千二百年記念大祭及び奉祝行事(平成十八年執行)

県無形民俗文化財「上総十二社祭り」創始千二百年を奉祝し記念事業を行う

## 一、御社殿修理工事(平成二十九年三月竣工予定)

大正十一年に修理工事をして以来、約九十年を経過し、本殿屋根、漆塗装、基礎部を始め木部等損傷が著しく、全面的な修理を行う

## 一、参集殿建設工事(平成二十年竣工)

本殿修理工事期間、御祭神にお鎮まり頂く仮殿を建設し、祭典・祈禱・参拝施設として使用する。兼ねて、ご不便をおかけしてきた団体参拝者の休憩、直会会場など大勢の方々を収容する設備としても使用する

## 奉賛金募金について

### 一、会員及び待遇

会員の種別	奉賛金	御芳名 本殿屋根 保存 祭典内	奉祝祭 記念品 内贈	芳名 彫刻
特別名譽会員	壹千万円以上	○	○	○
名譽会員	五百万円以上	○	○	○
特別有功会員	壹拾万円以上	○	○	○
有功会員	五拾万円以上	○	○	○
正会員	壹拾万円以上	○	○	○
準正会員	五万円以上	○	○	○
賛助会員	壹万円以上	○	○	○
準会員	壹万円未満	○	○	○



平成 26 年 5 月現在 工事中の御社殿

## 一、神楽殿屋根葺き替え工事

三百年前に建てられた神楽殿の内、未修理の屋根木部と銅板葺きの葺き替えを行う

## 一、境内整備工事

痛みの激しい石段の組み直しや排水路防犯灯、身体の不自由な方々の参拝路整備等を行う

## 一、その他

その他必要な事業を行う

**募金期間** 平成十九年度より  
**工事期間** 平成十九年度より  
**総工事費** 六億円

## 二、お申込み

○添付の申し込み用紙にご記入の上奉賛会事務局(本殿前授与所)までお持ち頂くか、返信用封筒(FAX・メール可)にてお送り下さい

## 三、募金方法

○現 金 奉賛会事務局までお届け下さい  
○振り込み 金融機関へお振込み頂く場合は、左記一覧表をご参照下さい。  
尚、郵便局からの払い込みは同封の振込用紙をお使い頂くと便利です

※現金・振込み共に五年迄の分割納入も可能です  
預金口座からの分割で自動振込を頂く場合は、専用の申し込み用紙がございますのでお申し出下さい

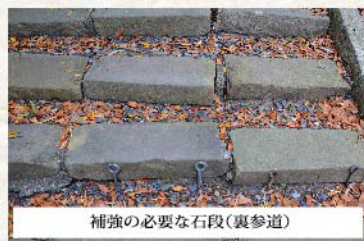
口座名「玉前神社修理事業奉賛会」  
口座番号一覧  
郵便振替口座 00230-0-80352  
玉前神社 修理事業奉賛会 代表 栗原崇次  
ゆうちょ銀行一宮郵便局 10550-65778001  
玉前神社 修理事業奉賛会 (代表者 栗原崇次)  
房総信用組合一宮支店 (普通)2110851  
玉前神社 修理事業奉賛会 代表 栗原崇次  
千葉銀行一宮支店 (普通)3250793  
玉前神社 修理事業奉賛会 代表 栗原崇次  
りそな銀行茂原支店 (普通)1323821  
玉前神社 修理事業奉賛会 代表 栗原崇次  
JAバンク長生農業協同組合一宮支社 (普通一般)1323821  
玉前神社 修理事業奉賛会 代表 栗原崇次



神楽殿屋根 木部と銅板



未塗装(漆塗)の御社殿



補強の必要な石段(裏参道)



本殿漆塗りの様子



工事中の御社殿



修理が進みつつある御本殿